

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年4月4日

堺市長 殿



提出者 大阪府堺市東区日置荘原寺町407-1
 住所 株式会社 国府
 氏名 代表取締役 三ヶ崎 達也
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 072-287-3888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 国府
事業場の所在地	堺市東区日置荘原寺町407-1
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2046.78t	全処理委託量	2046.78t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	0t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	2046.78t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の[別紙]

規制者名
監視取扱い登録番号

住所		名前		職種		担当部署		電話番号		FAX		電子メールアドレス	
監視取扱い登録番号を記載する事場等を記載する支店等の住所		監視取扱い登録番号を記載する事場等の名称		監視取扱い登録番号を記載する事場等の住所		監視取扱い登録番号を記載する事場等の名称		監視取扱い登録番号を記載する事場等の住所		監視取扱い登録番号を記載する事場等の名称		監視取扱い登録番号を記載する事場等の住所	
東京都墨田区押上4丁目407-1	株式会社 国際	工事部	072-287-3888	072-287-3883									

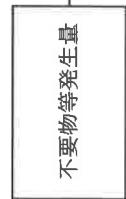
危険廃棄物の質問	①排出量	②貯蔵庫 衛生刊用した量	③自己管理課題 漏れ又は漏洩 人間分にした量	④のうち (i) 人間分にした量	⑤自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量	⑥自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付随する荷物の量	⑦自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (ii)	⑧自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (iii)	⑨自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (iv)	⑩自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (v)	⑪自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (vi)	⑫自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (vii)	⑬自ら中間貯蔵 施設等に運搬した量 に付隨する荷物の量 (viii)
「コード」 「生じた医療機関の見出	名前	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢
1 1502 ①アスファルト塊	0.00												
2 1501 ②コンクリート塊	0.00												
3 1500 ③道路塗料	0.00												
4 ④													
5 ⑤													
6 ⑥													
7 ⑦													
8 ⑧													
9 ⑨													
10 ⑩													
11 ⑪													
12 ⑫													
13 ⑬													
14 ⑭													
15 ⑮													
16 ⑯													
17 ⑰													
18 ⑱													
19 ⑲													
20 ⑳													
合計	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0

(注)トランク等は原則として四捨五入。ただし、数字が奇数であれば小数点以下で3桁まで四捨五入可。

(注)上記の産業廃棄物の提出義務がある場合は、必要に応じ、直欄を追加してください。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①アスファルト塊)



項目	実績値										
①排出量	0.00										
②+⑧自ら再生利用を行った量	0										
⑤自ら熱回収を行った量	0										
⑦自ら中間処理により減量した量	0										
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0										
⑩全処理委託量	0.00										
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0										
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00										
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0										
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0										

⑧自ら直接再生利用した量	0	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
④自ら中間処理した量	0	⑥自ら中間処理した後 の残さ量	0	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑤のうち熱回収を行った量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量	0	⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：②コンクリート塊)



不要物等発生量

有償物量

排出量

自ら直接再生利用した量

自ら中間処理した後再生利用した量

項目 実績値

①排出量 0.00

②+⑧自ら再生利用を行った量 0

⑤自ら熱回収を行った量 0

⑦自ら中間処理により減量した量 0

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0

⑩全処理委託量 0.00

⑪優良認定処理業者への処理委託量 0

⑫再生利用業者への処理委託量 0.00

⑬熱回収認定業者への処理委託量 0

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後の残さ量

自ら中間処理により減量した量

自ら中間処理した後直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪のうち再生利用業者への処理委託量 0.00

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 0

⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③廃路盤材)

有償物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接 再生利用した量	② 0
-----------------	--------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0
----------------------	--------

排出量	① 0.00
-----	-----------

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0
-------------------------	--------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

項目	実績値
①排出量	0.00
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら熱回収を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑥自ら埋立処分を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑨自ら中間処理した後再生利用した量	0
⑩自ら直接埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 0.00
----------------------	-----------

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。